

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surface microscopy of pigmented basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	色素性基底細胞癌の表面マイクロスコープ所見	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (2)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ3-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	10926737	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	136	
	号	8	
	ページ	1012-6	
	ISSN ナンバー	0003-987X	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Menzies SW	Department of Surgery, Unversity of Sydney, Australia
	その他著者 1	Westerhoff K	
	その他著者 2	Rabinovitz H	
	その他著者 3	Kopf AW	
	その他著者 4	McCarthy WH	
	その他著者 5	Katz B	
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		

	目的	Dermoscopy を用いた色素性 BCC に対する適切な形態学的特徴を示し、より単純な診断法をつくることを目的とする。	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	Sydney melanoma unit	
	対象者	病変が切除された患者の大きなデータベースから、ランダムに選ばれたサンプル。142 例の pigmented BCC、142 例の invasive melanoma、142 例の benign pigmented skin lesion をランダムに 2 つの同じ大きさの training set と test set に分けた。	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 15 ）	
	介入（要因曝露）	診断モデルの作成	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	Pigmented BCC の診断モデルの感度と特異度	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	次のような診断モデルを作成した。 まず、pigment network が存在しないことと、次の 6 項目の中で 1 つないしそれ以上の項目を満たすこと。 ① large gray-blue ovoid nests ② multiple gray-blue globules ③ maple leaflike areas ④ spoke wheel areas ⑤ ulcerations ⑥ arborizing “tree like” telangiectasia 独立したテストセットにおいて、pigmented BCC の診断感度は 97%、invasive melanoma が 93%、良性色素性病変が 92%であった。	
	結論	表面マイクロスコープは 3 者の病変に対して診断の有用性がある。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（Ⅳ） 多数例からマイクロスコープの有用性を検討し、診断の感度・特異度を検討した論文である。
--	------------	--